

# ボールパーク構想推進に係る市民説明会

## 【質疑応答記録】

□ 質問・意見内容 → 北広島市回答 ⇔ ファイターズ回答

### < F ビレッジ・エスコンフィールドに関するもの >

□ 天然芝の球場で、野球以外の使い道はどのように考えているのでしょうか。温泉や商業施設は通年営業されると聞いていますが、特に冬場は、それだけでは人は集まらないのではないのでしょうか。

⇨ 新球場ではフィールドで天然芝を育てながら使用していくことになりしますので、2023年の時点で芝を痛めるようなイベントの開催は難しいと思っています。開業後、芝の状況を見ながらプロ野球興行以外での使用を検討していきます。なお、フィールドではなく、コンコースなどの他の場所や、球場以外のエリアを使用するイベントは、様々な種類のを随時開催していきたいと考えています。

また、冬場においては店舗や宿泊施設の他、スノーパークのようなエリアを作ったり、レクの森と連動したアクティビティなどの構想を持っており、通年で人が集う施設にしていきたいと思っています。

当社としては、これらのイベントを含めて2022年に様々なことを大々的に発表していく予定のため、現段階で申し上げられるのはこの程度ということで御理解いただければと思います。

➔ プロ野球以外にもアマチュア野球での使用や、市のお祭りや成人式などで使用していくことも想定しています。使用については、市民がどのように関わりを持てるかについても球団と共に検討を行っています。

□ 例えば札幌市で毎年行われているPMFなどのイベントを、Fビレッジを拠点として開催していくような考えはないのでしょうか。スポーツだけではなく、文化的なアクティビティもできるといいなと思います。

⇨ 今時点で何か特定のイベントを開催することが決まっているわけではありませんが、既存のイベントを将来Fビレッジで開催することは十分考えられると思いますし、新しいイベントも生み出していけると考えています。

➔ 市としても、スポーツだけではなく、文化、芸術といった領域での活用は十分期待できるものと考えています。

□ **開閉式屋根となる新球場の、具体的な運用方法は決まっているのでしょうか。ドームと異なり、場所によって温度などが変わってくると思うのですが、快適に試合を観ることができるのでしょうか。**

⇒ 想定はありますが、実際の建物ができた後に今後チームや他球団などの意見も踏まえながら最終的に決定することとなります。ただし、屋根を開けることで寒い、暑いなど観戦環境が明らかに悪化する季節は当然閉めて試合を行います。なお、イベントを行っていない時は芝の育成のために開けていることが多くなると思います。

開閉式という特性から、施設を一律で同じ温度や湿度にするにはエネルギー消費量も増え、環境負荷も高まることから、お客様がいるエリアを快適な状態にすることを中心に考えた施設設計となっております。

□ **過去の説明会で、「冬はどうするのか」ということが多く質問されたと思うのですが、説明の中に、アリーナも考えているとの回答がありましたが、その後の進捗はどうなっているのでしょうか。**

⇒ 基本的な考え方として冬期も営業することを想定しています。例えばオフシーズンにおいてもスタジアムツアー等を計画しており、野球ではない別のイベントも展開することで、集客に貢献したいと考えています。周辺施設の運営を行う事業者の方々とも冬期は閉めるのではなく、冬にも来ていただけるような魅力ある取り組みをしていくことを前提に協議をしています。雪まつり的なものや、スケートリンク、イルミネーション等のイベントなどは具体的に考えられるものです。

アリーナについては規模も色々あると考えていますが、直近では、2023年に大型のアリーナを球場の隣にオープンするという計画は持っていません。

□ **新球場は、災害時の一時避難場所にもなるようですが、トイレはどの程度作られるのでしょうか。**

➔ 3万人の方がトイレを使用し、汚水管を経て一気に下水処理センターに汚水が流れた場合相当の負荷がかかるため、一時的に溜める機能があります。そのような貯留機能を活用することで、給水が止まったような場合でも、災害時に避難されている方の対応が可能となります。

⇒ 新球場では男女合わせて約700個のトイレを設置する予定で、男性300個・女性400個の割合です。一般的なスタジアムの場合男女比率が同じですが、女性の方を若干多くしており、全体として一般的なスタジアム・アリーナの約2倍の設置個数としています。なお、札幌ドームのトイレは男女合わせて400個強程度です。

□ **ボールパーク内にホテルは建設されるのでしょうか。また、ビジネスホテルのようなホテルなのか、高級なホテルなのか、どのようなレベル感のホテルになるのでしょうか。**

⇒ ホテルは、ラグジュアリー層と割安なホテルの建設を予定しています。具体的な開業日は現在折衝中のため示すことができませんが、おそらく今年中には皆様にお示しできると思います。

- **ボールパーク内に各種テナントが入るかと思いますが、オフシーズンにも集客できるようなイベントがなければ、テナント事業者の営業維持も困難になるのではないのでしょうか。**
- ➔ テナントやアンテナショップについては、この施設や場所で何かを実施してくださいという従来型の考え方では通用しないと考えています。民間事業者自らが、その場所でのようなことを実施していきたいかということについて提案し、それに実効性があるかということを検証していく必要があります。Fビレッジ内での飲食店の募集についても市内事業者からも数社応募がされており、自らが資金を出してこういった営業をしたいという強い思いを持った飲食事業者もいます。そういった提案を大事にしながら、気概を持った事業者をどう集めていくかという観点で進めていく必要があると考えています。
- **沢エリアはグランピングなど自然と融合できるような施設ができるものとなっていますが、調整池という表記もあり、調整池であればなかなか人が立ち入れないエリアなのではと思います。どのようなものになるのでしょうか。**
- ⇒ Fビレッジ内の池は2つあり、1つが三日月エリア側の調整池であり、もう1つが沢エリアの池で、そちらは各種アクティビティを行うことができる、美観や景観を尊重したものとなります。
- **Fビレッジの駐車場はどの位置に整備されるのでしょうか。また、エリア内の駐車場は混雑すると思われるので北側の工業団地内の駐車場整備について、可能性も含め検討していただけないのでしょうか。**
- ➔ Fビレッジエリア内では北側に駐車場が整備される予定です。工業団地内の駐車場整備については、現在の計画には位置付けていません。
- **Fビレッジ内の駐車料金は、いくらになるのでしょうか。**
- ⇒ 駐車料金については、試合日、非試合日、土日祝、平日と大きく4つの料金体系になるものと考えています。現状、札幌ドームでも様々な検証を実施していますが、ボールパーク開業後は、需給のバランスを見極めた上で、そのタイミングごとに最適な料金を設定していきます。
- **平日の試合開始時間を早めるなどの検討はしているのでしょうか。**
- ⇒ 平日の試合開始時間については柔軟に対応したいと考えています。今後、具体について検討していきます。
- **Fビレッジに整備される温泉については球場開設と同時にできるのでしょうか。**
- ⇒ エリア内で掘削を進めた結果、43度の源泉が出ました。温泉に入りながらの観戦スタイルも提供していきたいと考えています。

□ **新球場の天然芝の生育実験のパターンは決定したのでしょうか。**

⇒ 現在、F ビレッジ建設地の近くで生育実験を行っており、新球場の 30 分の 1 の模型を使用しながら、温度、湿度、光、地熱など様々なパターンを組み合わせる最適な育成方法を探っている最中です。

□ **2023 年の開業時には、どこまでできているのでしょうか。宿泊施設は開業するのでしょうか。**

⇒ 開業時には、球場だけでなく、宿泊施設や様々なアクティビティを楽しめるエリアがオープンします。フェーズ I として示しているエリアのうち、大半の施設は 2023 年にオープンする予定で工事スケジュールなど調整しています。

### <北広島市による各種取組に関すること>

□ **ボールパークに関連して、北広島駅西口の再開発が行われていくとのことですが、駅の東口は今後どのようなようになるのでしょうか。また、ボールパークや周辺エリアが市街化区域に編入されることについて、市はこれまで市街化区域の拡大はできないとの考えだったと思いますが、それが変わったのでしょうか。**

➔ 北広島駅東口については、文教的な地区として、平成 8 年から順次、文化ホールや図書館、病院、居住地などの整備が行われてきており、現在は一定の整備が完了していると考えています。一方の西口は商業エリアとしながらも、市有地が有効に活用されていないなど、にぎわい創出について長年課題を持ってきた中、ボールパークの整備と連動しながら今回再開発事業に着手するものです。

市街化区域の拡大については、これまで他地区からも要望がありましたが、人口減少下の現在においては推し進められるものではありませんでした。しかしボールパークエリアについては、北海道全体の価値魅力向上が図られる北海道のシンボルとなるエリアとして、北海道全体の動きの中で議論、審議され、この度市街化区域に編入されるものです。

□ **近隣市町村と広域で連携しているとのことでしたが、市内の商工会や観光協会との連携はしていないのでしょうか。**

➔ 市内の商工会や観光協会とも連携しており、ボールパーク構想と商工業、飲食業、観光業をどのように結び付けていくかということについて、適宜情報共有を図りながら進めています。本日説明した周辺市町村との連携については、ボールパーク自体は北広島市内にできるものですが、周辺自治体とも連携して推進しているということを紹介させていただいたものです。

□ まちづくりについて、新球場のほか、ホテルや商業施設などの話がありますが、具体的にはどのようなエリアになっていくのでしょうか。また、人口減少が進んでいますが、2030年の定住人口や流入人口はどのように試算しているのでしょうか。

⇒ 球団としては、新球場の運営、興行を行っていくこととなりますが、それ以外の飲食や宿泊、商業などの機能については専門事業者により整備、運用されます。フェーズⅠの開発エリアにおいて、複数の事業者の方たちと具体的な協議を進めており、今後、詳細が整った後にお知らせしていきます。

➔ 市の人口は平成19年の61,199人以降徐々に減少し、現在は約58,000人となっています。これを、2030年には再度60,000人にしていくというのを次の10年間の目標値としています。人口を増やしていくには、居住する場所を作っていくということも大切であり、若い方たちが望むような居住エリアを整備していきたいと考えています。交流人口としては、Fビレッジの来訪者を年間300万人とみており、市の既存の他のエリアと合わせ、年間400万人の来訪があると見込んでいます。

#### <財政、予算に関すること>

□ 市の財政が大変厳しいと聞くことがありますが、実際はどうなのでしょう。財政的な部分の話が周知されていないのではないのでしょうか。町内会活動を行っている環境整備等において多くの要望があるものの、実現されるものは少ないと感じており、財政の厳しさに起因するのではないかと考えています。

➔ 北広島市は昭和40年代の北広島団地造成を機に、その後様々な方たちのご尽力により発展を遂げてきました。しかしながら昨今は人口減少が進んでまちが衰退していることも事実です。そのような中で将来を考えた時に、ボールパークを活用しながら、今の子どもたちが大人になった時にも持続的に成長していくことを目指してまちづくりに取り組んでいます。

借入金となる市債には、後年時にわたり財政を平準化するためのものと、赤字を補てんするためのものの2通りありますが、ここで言う市債は前者のものであり、財政推計を重ねながら事業を推進しています。

実質公債費率が25%を超えると早期に財政健全化計画を策定しなければいけないレベルとなりますが、市の現在の割合は7%であり、今後最大でも11%にとどまる推計となっています。球場の固定資産税免除などについては誘致の段階から行政サポートとして挙げてきました。人により色々な考えがあるものと承知はしていますが、政策として取り組んでいますのでご理解いただきたいと思います。

財政面の周知が少ないというご意見については真摯に受け止め、今後の周知手法等を検討していきます。

□ 市の財政について、各種整備による投資に対して何年で回収するものと想定しているのでしょうか。

➔ 市で行っているのは主に道路や上下水道の整備といったインフラ関係です。インフラ整備について、投資に対する回収というのは見方が難しいのですが、経済効果などとは別に、市債の償還という面では通常 20 年から 25 年で行うものとされています。

### < 道路交通に関すること >

□ F ビレッジ周辺の交差点において、工事車両の通行により最近朝や夕方に渋滞が発生しています。開業後はさらにひどくなるのではないかと心配していますが、何か対策はあるのでしょうか。

➔ 最近、渋滞でご迷惑をおかけしていることを承知しています。工事事業者とは、作業員の出退勤の時間をずらすなどの対策について協議を行っています。開業後は、時間分散や経路分散の施策を講じるとともに、近隣住宅地においては警備員の配置などにより、渋滞やトラブルを抑制していくこととして具体を検討しています。

市では大曲地区の商業施設利用者の増加による渋滞を各種施策により軽減してきた経験があり、また球団には、北海道移転当初に札幌ドーム周辺の住宅地で様々なトラブルがあったことを解消してきた経験があります。それらを活かしながら、最終的には人海戦術になるかも知れませんが、対策を講じていきます。

□ 交通渋滞のことを一番懸念していますが、大曲通の交通量はどの程度になると考えているのでしょうか。三井アウトレットやコストコのことを考えると、経路分散として羊ヶ丘方面から大曲中央通を通過して大曲椴山線へ抜けるのは難しいのではと思うのですが。

➔ 検証の結果、当然現状よりは交通量は増加しますが、経路分散や時間分散をすることによって、大規模な渋滞の発生が無いように対応できるのではと考えています。札幌方面からの来場者に関する国道 36 号から羊ヶ丘通への経路分散については、大曲中央通方面へ左折するというのではなくて、そのまま羊ヶ丘通を直進し輪厚まで行った後に、輪厚中の沢線を通る経路を誘導していきたいと考えています。

大曲中央通については、特に 5 月の連休やお盆時期の渋滞を把握しているところであり、野球の開催日と重複する際はより重点的に対策を講じていきたいと考えています。

□ 輪厚スマートインターチェンジの利用増加が懸念されますが、市道広島輪厚線の混雑を緩和するため市道中の沢線などへのアクセス道路の改修は予定されているのでしょうか。

➔ 今のところ道路の工事計画はありません。ボールパーク開業後の混雑については、できるだけ空いているルートへご案内することなどで車を分散させるよう考えています。なお、ボールパークへの来場者のうち、車を利用する方は約 3 割と見込んでいます。色々な手法を使いながら、問題を解決していきたいと思えます。

- **国道 274 号から直接 F ビレッジにアクセスする道路（市道西裏線）の構造と、札幌方面からくる自動車は、市道西裏線のどの道路を通行するのでしょうか。**
  - ➔ 市道西裏線は、道路や鉄道と交差する部分を橋梁にて整備し、それ以外の沢の部分などは、道路本体を盛土して整備します。また、札幌方面からの自動車は、国道 274 号に立体交差する連結道路のランプ部分を通行し、F ビレッジに来場することになります。
  
- **2023 年 3 月の道路完成というのは、オープン戦に間に合うのでしょうか。2 月に道路が使えるようにならないと遅いのではないかと思います、具体的に道路が使えるようになる日は、いつなのでしょうか。**
  - ➔ 通行可能になる具体的な日は現状では未定ですが、2023 年のオープン戦が始まるまでには利用できる状態になるよう工事を進めています。
  - ⇒ 2023 年のオープン戦の時期については、おそらく 2 月ではなく 3 月になるのではないかと考えていますが、道路の開通状況にも応じて、適宜判断していきます。また、球場自体は 2022 年 12 月に工事が完了し引き渡される予定ですが、その後 3 か月間で大量のお客様をお迎えするための準備ができるかという部分は、その時になってみないとはっきりと申し上げられないということもあります。いずれにしても道路が通行できない状態で多くの来場者誘引を行って開業する想定はありません。
  
- **札幌方面に帰宅する際、市道西裏線の道路が一車線では渋滞するのではないのでしょうか。**
  - ➔ F ビレッジからの退場する際、ひとつの経路に車両が集中しないような経路分散や、ピークを避けて一定の時間に車両が集中しないような時間分散策について、具体的な取組を道路管理者や警察等の関係機関と検討しています。
  
- **上野幌駅周辺にパークアンドライド駐車場を整備する予定はないのでしょうか。西の里や、厚別方面の来場者も利用すると考えます。**
  - ⇒ 現在、整備計画はありませんが、来場方法について、お客様にも無理なくご納得いただけるような方策を見出していきたいと思います。
  
- **エルフィンロードの利用について、最近は自転車が勢いよく走ることもあり、今後多くの人が行くと危ないのではと感じます。また、街灯が痛んでいたりと、樹木が伸びているなど見栄えが良くないし安全面が心配ですが、補修の計画はあるのでしょうか。**
  - ➔ ご指摘の通りだと認識しています。安全の確保については、エルフィンロードの管理者である北海道のほか、北海道警察とも認識を共有し、2 年後の開業に向けて今後の具体的な対策について検討を進めています。

## <鉄道・バス輸送に関すること>

- **新駅の利用者はボールパーク来場者がほとんどで、近隣住民以外の大多数の市民は使わないものと思っていますが、それでも市が費用を負担して整備するのでしょうか。**
  - ➔ 市民が使うものだけを市が整備するという考え方ではありません。全国や世界に向けて市の利便性の良さを発信できるということは、市にとっても大きな効果があると考えています。また、エリアの価値が高まることでその恩恵を受けることとなる方たちと共に、整備費の負担の在り方についても協議、検討しています。
  
- **新駅については2027年の完成を予定とのことでしたが、それは決まったことなのでしょうか。また、それに伴って予算が必要になってくるものと考えられますが、このことに伴う財政推計をどのように発表していく予定ですか。**
  - ➔ 新駅については、最初の調査設計の段階で設置は可能ということを経済産業局から回答いただき、昨年7月に市として正式に新駅設置に対する請願を提出しました。令和3年度については、具体的な位置などの実施設計に入っていくこととしており、金額については80~90億円程度とされていますが、その金額の構成については、駅舎、線路、電気設備、システム改修費など全て含まれた金額となっています。また、三日月エリアについては開発の恩恵を受ける民間事業者からの費用負担なども含めて多方面から検討しているところであるため、最終事業費構成も含めて、説明できる段階になったら、財政推計も含めて市民の皆様にご説明していきます。
  
- **新駅のホームはどのようになるのでしょうか。また、快速電車は停車するのでしょうか。**
  - ➔ 既存の線路を外側にふくらませ、その内側に新駅のホームが整備される計画となっています。快速電車は外側の線路を通行し、新駅には停車しない予定です。改札のイメージとしては、北広島駅と同様に2階部分からFビレッジへアクセスするような形状となるかと思いますが、今後の調査により詳細な設計等を決定していく予定です。
  
- **新駅は市が整備してJR北海道に帰属するということでしょうか。**
  - ➔ 新駅については、請願駅となりますので、請願者である市で整備費を負担し、JR北海道で工事を行うこととなります。
  
- **バス交通に関して、西の里からの来場アクセスはどのような想定でしょうか。ナイターの場合、帰る時間帯にバスがありません。シャトルバスも何か所か西の里で停車するなど、検討していただきたいです。**
  - ➔ 各地区とFビレッジ間のバスアクセスについては検討を進めています。例えば試合開催時などは通常とは違うダイヤを設定するなどの手法も考えられますが、具体については未定です。
  - ⇒ シャトルバスも満員となるとピックアップできないため、事前予約など含め検討していきたいと思っています。

- **新しいアクセス道路を除けば、ボールパークへの入り口は市中心部の交差点1カ所しかなく、一般の車両、路線バス、貸切バスすべてがそこに集中すると渋滞が生じると思います。遠方から来る貸切バスの駐車場をどこか周辺ではない場所にするなど、決めているのでしょうか。またその用地を既に手当てしているのでしょうか。**
  - ⇒ 全て決定しているわけではありませんが、バス駐車場については、こういった方面からどのくらいのバスが来るのかをシミュレーションしながら検討しており、試合日においてはFビレッジ内に一部配置しています。また、周辺のエリアにおいても停留所としてや待機所的な位置づけで設置できないかを検討しています。
  - ➔ バスの経路については、バスがどこを通ると他の交通も含めスムーズになるかを検証しており、今後決定していく予定です。どこか遠方にバスを止めてそこから球場へ行くというよりも、球場の周辺でバスを止められるようなエリアを設けて球場に行けるようにしています。また、ボールパーク周辺道路を4車線化することで、バスやタクシーが優先的に走行できるレーンと一般車が走行するレーンを分離することも検討しています。
  
- **輪厚地区からボールパークまでの直通バスは出るのでしょうか。**
  - ⇒ バスルートについては、複数のバス事業者と協議し、決定していきます。現時点でどこから何本のバスが出るかはお伝えできませんが、なるべく多くの場所からアクセスできるように検討しています。

### <その他の事項>

- **「ボールパーク構想推進に関する説明」とありますが、構想の説明というのであればどれだけの人が集うかや、スタジアムのほかにどんな施設があってどんな利用ができるのか、また、どれだけの交通量が発生するから道路整備が必要などの情報も資料中にあるべきではないでしょうか。**
  - ➔ 過去の説明会において説明済みという認識であり、1年前から現在までの進捗を中心に説明する構成としました。いただいたご意見を参考とし、今後説明会を実施する際には、内容を検討していきます。
  
- **やはりチームが強くないと観に行く気にもなりません。ここ数年のチームだと心配です。強い、勝てるチーム作りをしてほしいです。**
  - ⇒ 応援ありがとうございます。また、ご心配おかけし申し訳ございません。チームとして優勝を目指して戦っていくことはもちろんですが、合わせてチームの成績によらず楽しめる場所づくりを行っていきたいと思います。ボールパークではその可能性が広がっていくと思いますので、よりたくさんの方に空間を楽しんでいただきたいと思います。

□ **北広島高校が現存したままボールパークが開業されると思いますが、北広島高校は将来もこのままなのでしょうか。**

➡ 現状として、高校の移転等の予定はありません。高校の隣に大きな施設ができることについて、教育の観点、登下校の安全安心の観点から、北海道教育委員会やPTAを含め適宜情報共有をしています。先日の入試の際にも受験生に配慮し工事を止めるということも行っており、都度連携しています。また、高校の隣にFビレッジがあることによって、プラスの面として職業体験などの場として活用できないかということや、新駅ができた場合には登下校の安全安心に繋がるというような御意見もいただいています。今後も引き続き、北広島高校に配慮しながら各種取組を進めていきます。校舎の老朽化対策も踏まえて、北広島高校の土地の将来的な利用については、もっと先の話ではありますが、話をしていく可能性はあると思っています。

□ **レクリエーションの森の遊具がだいぶ老朽化しています。ボールパークに隣接していることによる今後の活用方法について具体的な想定はあるのでしょうか。また、野幌原始林の今後の有効活用方法については検討されているのでしょうか。**

➡ レクリエーションの森については、御指摘のとおり木製遊具が老朽化して、使えない部分があります。隣にFビレッジがあることによって、レクリエーションの森のより良い活用方法を庁内で検討しています。また、野幌原始林については、今後の在り方について検討する組織を作りましたが、基本的には、活用というよりもいかに現状のまま未来に残していくかということを中心に考えています。

□ **ボールパーク構想に関し、民間企業だけではなく、ワークショップなど市民参加で各種アイデアを募るといったような働きかけは考えられているのでしょうか。**

➡ 市民参加については、球団とともにどのように市民と関われるかということについて協議を進めています。具体的にワークショップという想定まではいっていませんが、例えば日常的な花壇の整備や道路の清掃、試合のボランティア、オフシーズンのイベント開催時を含めて様々な参画の仕方があると思っており、具体的内容について検討を進めています。